

菊次郎ミュージカル ～KIKUJIRO～



♪ 日新公いろは歌 ♪ ～ 菊次郎ミュージカル 4期生「日々是好日」～

新年おめでとうございま～す。いよいよ2025年が始まりましたね♪今年巳年です 🐍 巳(み・へび)は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされているとか。。

皆さんも2025年が自分の殻を破る年になると良いですね(^ ^) さて、今日は、劇中歌にある「日新公 いろは歌」の一部について触れてみたいと思います♥ 皆さん、「日新公いろは歌」って聞いたことがありますか・・・??

「日新公いろは歌」とは「島津家中興の祖」と称された島津忠良が5年余の歳月をかけ完成させたという薩摩藩の「郷中教育」の基本精神となったと言われる47首からなる歌です。薩摩武士、士道教育の教典となったこの「日新公いろは歌」は現代の私たちにも通じる多くの教えを含んでいるかもしれませんね・・・

※「郷中(こうちゅう)教育」とは、400年以上前に確立された薩摩藩独特の青少年教育のことです。

い「いにしえの道を聞きても唱えても わが行いに せずばかひなし」

(昔の堅者の立派な教えや学問も口に唱えるだけでは、役に立たない。実行することがもっとも大事である。)

ろ「楼の上もはにふの小屋も住む人の 心こそは 高いやしき」

(立派な御殿に住んでいようと、粗末な小屋に住んでいようと、それで人間の価値は判断できない。心の在り方によってこそ真価が決まる。)

は「はかなくとも明日の命を頼むかな 今日今日と 学びをばせで」

(明日のことは誰もわからない。勉学修行を明日に引き延ばし、もし明日自分が死んだらどうするのか。今この時を大切にすべきだ。)

に「似たるこそ友としよけれ交らば 我にます人 おとなしきひと」

(人は自分と似たような人と仲良くなるが、それだけでは進歩は望めない。自分より優れた見識を持つ者を友とすることで自己研磨をすることが必要だ。)

ざ～ッと4首のみ触れましたが、残り43首の教えも結構、ビビビ～ットきますよ♪ この際には是非、皆さんもネット検索してみても(*´艸`)ミュージカルの子供達も、知らず知らずのうちに、うちの師匠から「郷中教育」の施しを受けているのかも(笑)

さあ～みんなあああ～2025年も西郷隆盛・菊次郎翁の背中を追いながら頑張っていきゅつと!! チェストおおお～(^ ^)/♪



龍郷町教育委員会 電話：0997-69-4532 FAX：0997-62-2074

龍郷町に3年弱潜居していた西郷隆盛と愛加那の間に生まれた西郷菊次郎(本町名誉町民)の半生を描いた龍郷町青少年ミュージカル

